

平成10(1998年)年2月10日(火曜日)

政治メモ

○：「委員長になつての四ヶ月間、生きた心地がしなかつたけど、大きなヤマを越えてやつと正月を迎えた感じだよ」。

総額三十兆円の公的資金投入を可能にし、「衆院大蔵委員会では戦後

最大の法案」と自負する金融安定二法案の衆院通過を受けて、村上誠一郎同委員長（愛媛2区、自民）は九日、ホッと心地がしなかつた

「ビッグバン関連法案なども残ってるから、まだ気は抜けない」。大蔵省

は東京の議員宿舎で寝込んでいたというが、祥事には「当事者なんだか

した顔で語った。胃薬を懷にしげながら深夜の理事会に臨むなどした疲れが出、週末やきも漏らしていた。

ら、委員会でも援護射撃してもらわないと

けないので」と、ぼ